

# 透析周辺機器の入れ替えに伴う透析液 水質と患者臨床データの変化

医療法人社団スマイル 博愛クリニック

○沖永鉄治 寺尾佳介 山平満浩 吉田賢治 藤井恵子  
大谷真帆子 山田有美 進藤稔弘 頼岡徳在 高杉啓一郎

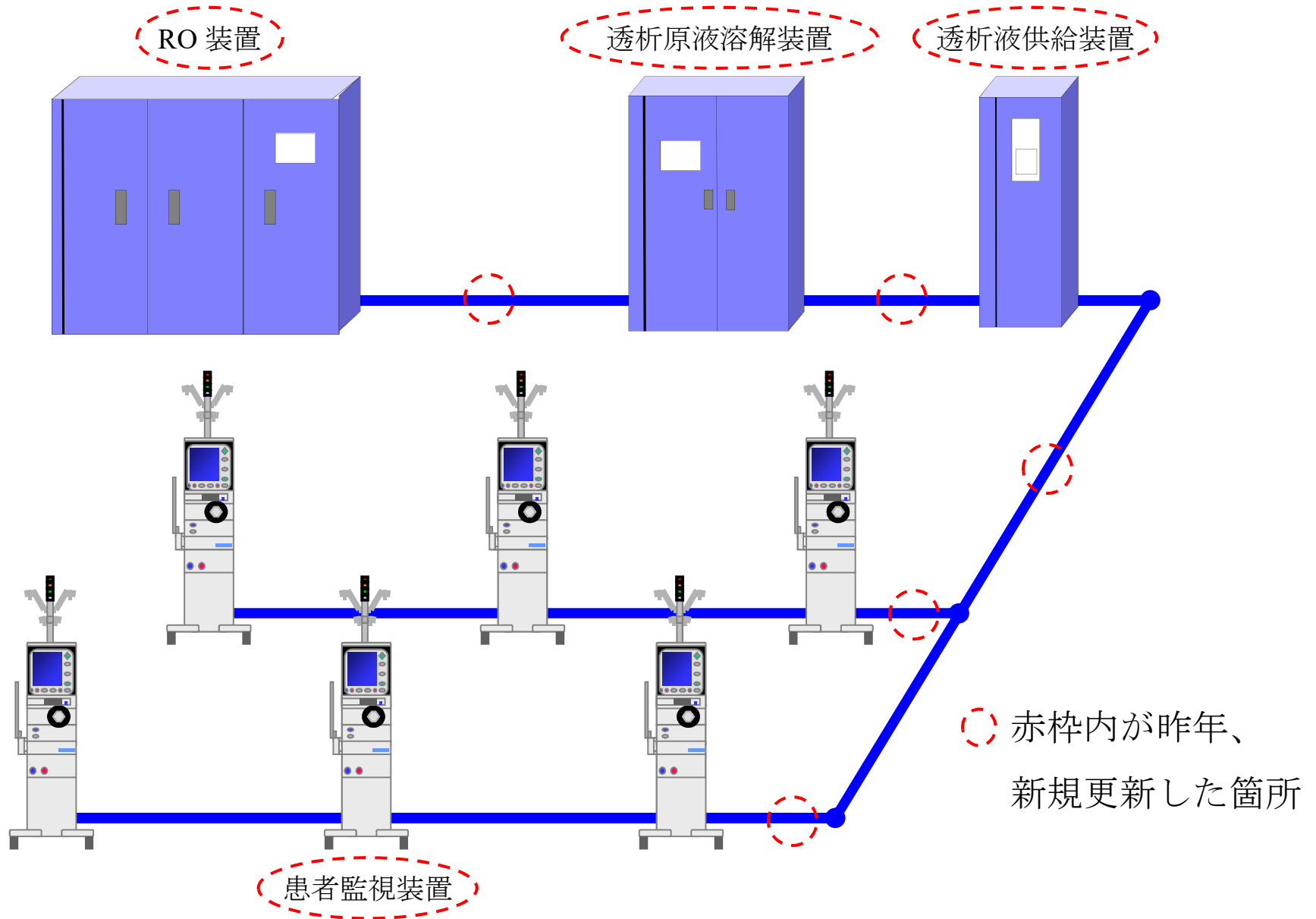


# 目 的

当院では昨年、透析周辺機器(RO装置・透析液供給装置・透析原液溶解装置・患者監視装置・それぞれに付随する配管)を更新した。透析周辺機器を更新した前後で透析液関連の水質と患者臨床データの変化を検討し報告する。



# 透析周辺機器更新の概略図





## 対 象

- 維持透析患者 62 名
- 男女比 30 : 32
- 平均年齢  $68.6 \pm 11.2$  歳
- 平均透析歴  $164.9 \pm 118.7$  ヶ月
- 原疾患 慢性糸球体腎炎 : 23名  
糖尿病性腎症 : 20名  
腎硬化症 : 6名  
多発性のう胞腎 : 4名  
その他 : 9名

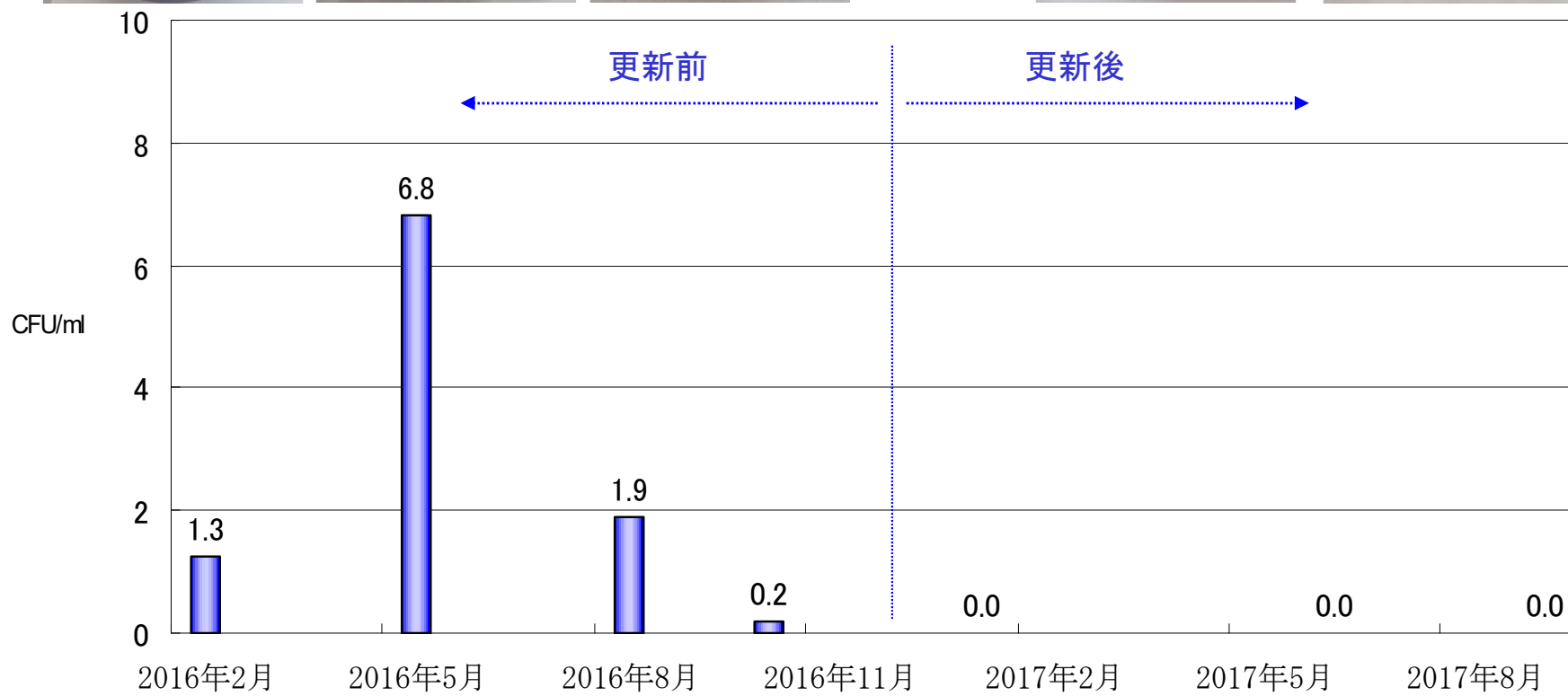
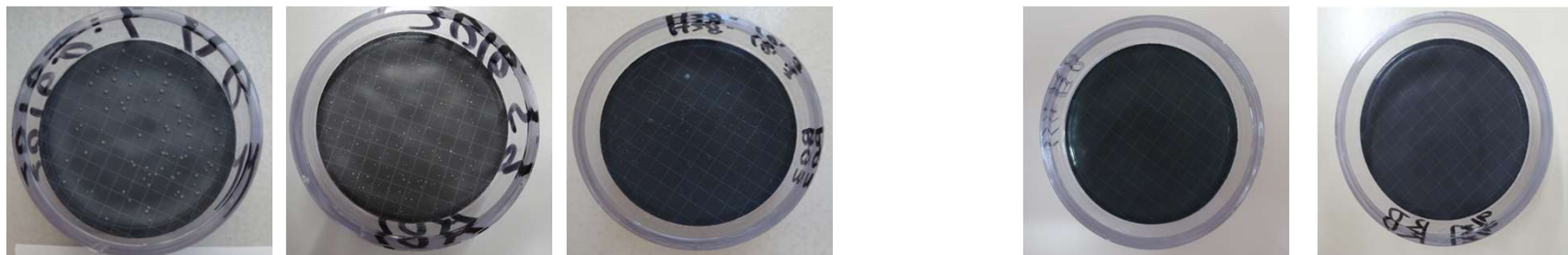


# 方 法

1. 透析周辺機器の更新前後6ヶ月で透析用水の生菌培養結果を比較した。
2. 対象患者において透析周辺機器の更新前と更新後6ヶ月目のDW・BMI・BUN・Cr・Ca・IP・Alb・CRP・ $\beta$ 2-MGを比較した。



# 透析用水における生菌数の推移





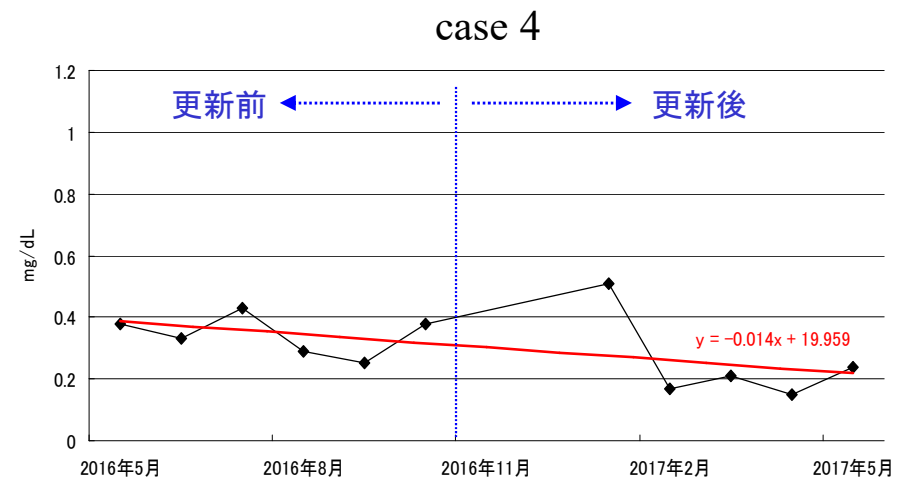
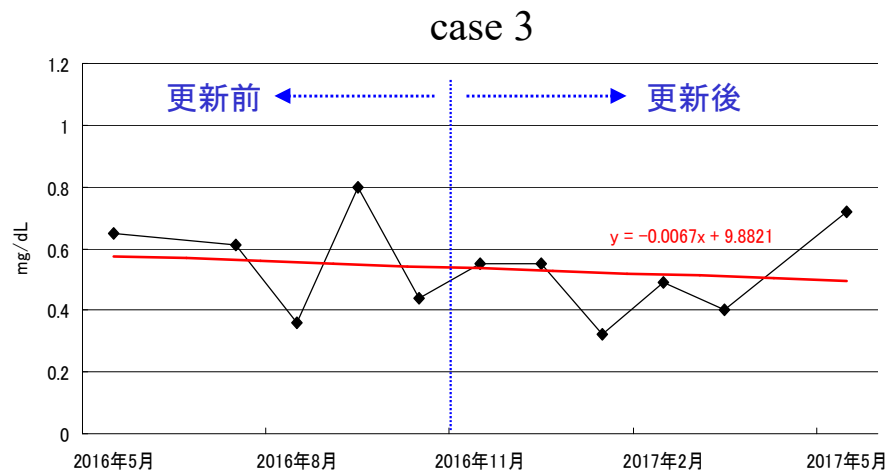
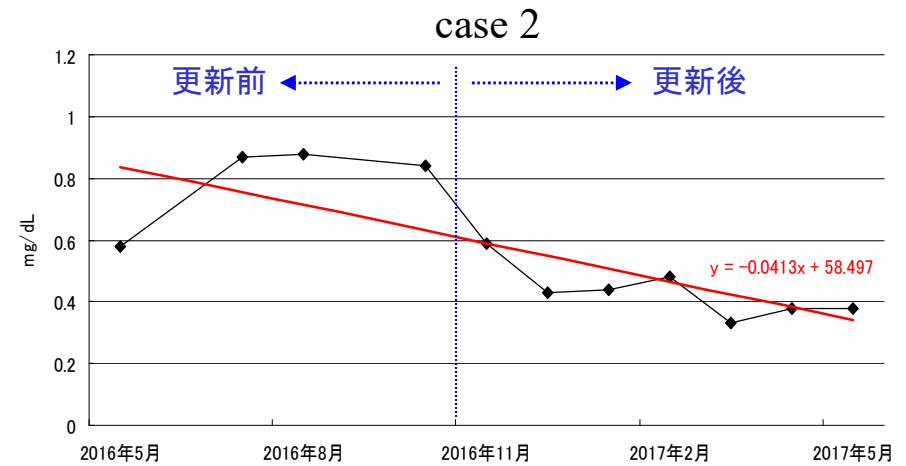
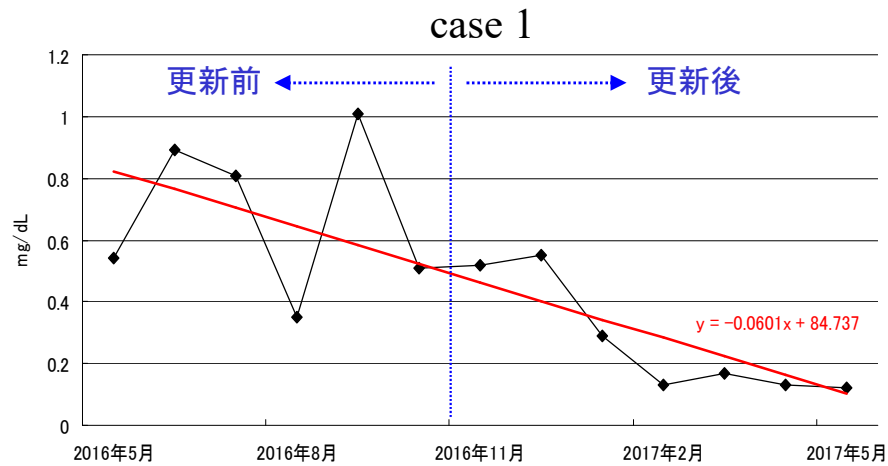
## 透析周辺機器の更新前後における 各データの比較

n = 62  
mean ± SD

	機器更新前	機器更新 6ヶ月後	
DW (kg)	55.2 ± 12.4	54.9 ± 13.0	n.s.
BMI (kg/m <sup>2</sup> )	21.9 ± 3.7	21.6 ± 3.9	p < 0.1
BUN (mg/dL)	55.0 ± 12.9	56.9 ± 16.5	n.s.
Cr (mg/dL)	9.93 ± 2.28	9.84 ± 2.06	n.s.
Ca (mg/dL)	8.84 ± 0.64	9.03 ± 0.68	n.s.
IP (mg/dL)	4.99 ± 1.01	4.86 ± 0.96	n.s.
Alb (g/dL)	3.60 ± 0.36	3.65 ± 0.36	p < 0.1
CRP (mg/dL)	0.25 ± 0.13	0.12 ± 0.11	p < 0.05
β2-MG (mg/L)	27.0 ± 6.6	28.0 ± 6.7	n.s.



# ケース別におけるCRPの推移







# 結 果

透析周辺機器の更新前における透析用水の生菌培養では最大6.8cfu/mlの生菌が検出されていたが、更新後から現在まで未検出となっており、患者臨床データではCRPが有意に低下した。



## 結 語

透析液の水質をある一定以上のレベルで満たしていても、より清浄化を行うことで患者臨床データは改善する余地があると考ええる。

**中国腎不全研究会  
COI開示**

**筆頭発表者名  
沖永 鉄治**

**演題発表に関連し、  
開示すべきCOI関係にある企業などはありません。**